

欠陥評価法の信頼性工学による検討

—— W S D R 委員会 中間報告 ——

昭和 54 年 2 月 23 日

社団法人 日 本 溶 接 協 会
鉄鋼部会 技術委員会 WSDR委員会

目 次

は し が き	2
委 員 名 簿	3
1. WSDR委員会の目的と研究方針	4
2. 不確実要因について	5
3. 現在までの結果	8
3-1 “破壊靱性値 (δ_c) の決定” に含まれる不確実要因	8
3-2 疲労亀裂進展特性の検討	18
4. あ と が き	18

は し が き

昭和52年2月鉄鋼部会研究発表会において公表された(株)日本溶接協会鉄鋼部会技術委員会WSD委員会による「脆性破壊に対する溶接欠陥の許容判定基準」を軸に欠陥評価法の信頼性工学的立場からの検討を目的として、昭和52年4月に技術委員会内にWSDR委員会が設置されて以来、WSD案における不確実要因の抽出とその性質について議論を重ねてきたが、にわかに結論を出せない問題が多く、引き続き審議を継続する必要が大きいというのが現状である。

しかしこの機会に本委員会の活動主旨を広く知っていただきこれまでの審議の結果得られている成果の一部について報告することにより関係各位の忌憚のない御批判と御意見をいただくことは今後の本委員会の活動に重要な指針となると考え、中間報告にすぎないがあえてここに御報告する次第である。

WSDR委員会の構成は別記の通りであり、ここに関係諸機関、委員各位のこれまでの御協力に感謝すると共に、今後の御協力をお願い申上げる次第である。

また、本中間報告書の作成に当っては、WSDR委員会 町田、川本両委員に御協力をいただいた。

昭和54年2月

鉄 鋼 部 会

技術委員会委員長 金 沢 武

WSDR委員会主査 板 垣 浩

W S D R 委 員 会 委 員 名 簿

主	查	板	垣	浩	横浜国立大学造船工学科
委	員	町	田	進	東京大学船舶工学科
		川	本	要次	東京大学船舶工学科
		福	田	収一	大阪大学溶接工学研究所
		宮	田	隆司	名古屋大学鉄鋼工学科
		大	橋	延夫	川崎製鉄(株)技術研究所
		工	藤	純一	川崎製鉄(株)技術研究所
		青	木	満	株神戸製鋼所技術開発本部
		石	沢	隆夫	株神戸製鋼所鉄鋼生産本部
		高	島	弘教	新日本製鉄(株)製品技術研究所
		川	口	喜昭	住友金属工業(株)中央技術研究所
		栗	田	義之	日本鋼管(株)技術研究所
		岩	崎	紀夫	日本鋼管(株)技術研究所
		鈴	木	是明	株日本製鋼所室蘭製作所
		小	野	塚正一	石川島播磨重工業(株)技術研究所
		矢	貫	徹	東京芝浦電気(株)重電技術研究所
		矢	島	浩	三菱重工業(株)技術本部長崎研究所